

2015年ネパール中部地震への被災状況把握と支援に関する緊急シンポジウムを開催しました(2015/5/8)

テーマ：国際連携

URL：<http://irides.tohoku.ac.jp/event/nepaleq/20150508.html>

2015年5月8日(金)に、本年4/25に発生したネパール地震について、被災状況把握と支援に関する緊急シンポジウムを災害科学国際研究所演習室Aで開催し、研究者など約50名が参加しました。当研究所からは、今村文彦 所長、大野 晋 准教授、マス エリック 助教(災害リスク研究部門)、遠田晋次 教授、趙 大鵬 教授(災害理学研究部門)、ダス ルーベル 助教(人間・社会対応研究部門)、服部俊夫 名誉教授が参加し、また山形大学の八木浩司 教授にもお越し頂き、地震環境、被災状況、被災地支援について発表するとともに、東北大学ネパール学生協会 NepSA 代表の Sagar Bhandari 氏より支援協力の呼びかけが行われました。

続いて、東日本大震災の経験を踏まえ、今後どのような支援が必要となるかについて討論が行われました。今後モンスーンの時期を迎え、2次被害として地滑り、感染症等の対策が必要となること、ロジスティクスやメンタルヘルス対策も重要となること等が話し合われました。

発表題目は下記の通りです。

- 『地震環境・余震』 遠田晋次 教授(国際巨大災害研究分野)
- 『ネパール地震震源域の地震波トモグラフィーと発震構造』 趙大鵬 教授(地震ハザード研究分野)
- 『地震動と建物被害』 大野晋 准教授(地域地震災害研究分野)
- 『地すべり』 八木浩司 教授(山形大学)
- 『ネパール地震の広域被害把握』 マス エリック 助教(広域被害把握研究分野)
- 『Application of Earthquake Response Comprehension from Japan (2011) to Nepal (2015) 総合的震災対応のヒント：日本の経験(2011)からネパール(2015)に向けて』
ダス ルーベル 助教(被災地支援研究分野)
- 『ネパールの多様な災害感染症とその対策』 服部俊夫(東北大学名誉教授)
- 『ネパール留学生より』 Sagar Bhandari(東北大学ネパール学生協会 NepSA 代表)

当日のプログラムおよび資料については、以下のURLをご覧ください。

<http://irides.tohoku.ac.jp/event/nepaleq/20150508.html>

ネパール中部地震に関する当研究所の特集ページ：

http://irides.tohoku.ac.jp/topics_disaster/20150425-nepaleq.html



会場の様子



支援協力を呼びかける Bhandari 氏